

令和4年12月2日



光が丘第二中学校 学校だより

TEL 3976-9202 FAX 5383-3608

<https://www.hikarigaoka2-j.nerima-ty.ed.jp>



「キャリア教育」について考える

校長 山田 美鈴

中学校でのキャリア教育は、義務教育9年間を終え、進学指導のみならず社会に出て自立するための指導助言を、主に総合的な学習の時間などを使って行っています。（「キャリア教育」とは、そもそも社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる能力や態度を育てることを意味します。）

かつて日本では大量生産・大量消費によって高度経済成長期を支えていた時代がありました。土日返上して働くことをイメージした「日月火水木金金」という歌があったように、働く時間が長いほど利益が上がるという状況は、今や遠い昔のこととなりました。

産業構造が大きく変化した今日の日本では、成熟期を過ぎ、働く時間の長さが利益に結び付くとは限らない現状があります。平均寿命が延びたことで雇用形態や労働者の意識も変化しており、生涯を通じた働き方が多種多様化していると言えます。そして若い世代を中心に、転職を前提に就職先を選ぶ人も多くなってきたようです。本年は男性の育児休業取得を促す改正育児法・介護休業法が施行されたことも、働き方改革としての大きな変化といえます。

またコロナウイルス感染拡大も相まって、リモートワークや時差出勤が仕事と生活のバランスを考え直す契機ともなり、定年後の仕事に対する関心も高くなっています。（私も人ごとではありません・・・。）

今の中学生が社会人となった時には、さらに加速度的に変化を遂げていることでしょう。

そこで大切なことは「働くことの意義」です。働くことによって誰かの役に立っているという喜びを感じられるかどうか？がポイントであると思うのです。自分を必要としている場がある、自分を必要としている人がいるという実感こそ、本当の幸せであり働くことの意義であると思います。中学校までの義務教育9年間の学びを通して、どう生きていくべきなのか？それぞれが真剣に考えてほしいと願っています。中学校卒業後の進路は一つの通過点に過ぎません。社会に出



る際に高収入の仕事を選んだところで体を壊してしまったり、自分の存在感や、やりがいを感じられなかったりしたのでは、本当の幸せとは言えません。3年生は卒業後の進路を決定するための大切な時期を迎えています。どうかこれからの生き方そのものについて、ご家族でじっくり意見を交わし合える時間も取っていただきたいと願っています。

<小中連携の取組> 光が丘春の風小学校との交流活動

① 小中合同あいさつ運動 (11月21日、22日、24日)



本校生徒会役員および専門委員会委員長が光が丘春の風小学校の通用門に立ち、あいさつ運動を行ないました。小学生が登校時に使用する通用門が3カ所あるので3グループに分かれて行ないました。朝から元気のよいあいさつを交わすことで1日が快適にスタートできます。

② クリーン運動 (11月10日)



この取組も恒例行事となりました。本校1年生と春の風小学校6年生が班ごとに地域の清掃活動を行ないました。落ち葉だけでなく、空き缶やたばこの吸殻など、目を皿のようにして探している姿が印象的でした。自分たちが地域を守るという気持ちを大切にしたいです

<セーフティ教室> (11月12日)

光が丘警察署のスクールサポーターを講師としてお招きし、セーフティ教室を開催しました。第1部は全校生徒向けにSNSトラブルによる被害や薬物乱用防止に関する話など多岐にわたるお話をいただきました。第2部では教員・保護者を対象にして光が丘警察署管内の犯罪等の現状をお話しいただき、性犯罪やSNS犯罪被害に関する質疑応答などを懇談的に行って和やかな会となりました。



～ 生徒の活躍 ～

配布用には個人名を掲載しています

- ・税の標語 全国関税会総連合会 入選 **3年生男子**
- ・東京都知事杯第13回全国中学選抜U15レスリング選手権大会 第1位 **2年生男子**
- ・練馬区健やかカレンダー原画 入選 **3年生女子**
- 〃 **3年生女子**
- 〃 **3年生女子**
- ・歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクール 中学校の部 優秀賞**1年生女子**